

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

| 地域名 | 構成市町村等名 | 計画期間 | 事業実施期間 |
|------|---------------------|---------------------------------|----------------|
| 尾三地域 | 日進市・みよし市・東郷町・尾三衛生組合 | 平成 25 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日 | 平成 25 年度～令和元年度 |

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

| 指 標 | 現状 (割合※1) (平成23年度) | 目標 (割合※1) (令和2年度) A | 実績 (割合※1) (令和2年度) B | 実績 B /目標A ※4 | |
|------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|-------------------|----------|
| 排出量 | 事業系 総排出量 | 12,176 t | 13,186 t (8.3%) | 13,788 t (13.2%) | 159.0 % |
| | 1事業所当たりの排出量 ※2 | 16.5 t | 14.3 t (-13.3%) | 12.1 t (-26.7%) | 200.8 % |
| | 生活系 総排出量 | 45,332 t | 45,308 t (-0.1%) | 44,049 t (-2.8%) | 2800.0 % |
| | 1人当たりの排出量 ※3 | 202 kg/人 | 167 kg/人 (-17.3%) | 184 kg/人 (-8.9%) | 51.4 % |
| 合 計 事業系生活系総排出量合計 | 57,508 t | 58,494 t (1.7%) | 57,837 t (0.6%) | 35.3 % | |
| 再生利用量 | 直接資源化量 | 7,321 t (12.7%) | 8,138 t (13.9%) | 6,757 t (11.7%) | -83.3 % |
| | 総資源化量 | 14,438 t (23.1%) | 18,249 t (28.3%) | 13,750 t (22.6%) | -9.6 % |
| エネルギー回収量 | エネルギー回収量 (年間の発電電力量) | — MWh | — MWh | — MWh | — |
| 減量化量 | 中間処理による減量化量 | 40,272 t (70.0%) | 40,107 t (68.6%) | 43,270 t (74.8%) | -342.9 % |
| 最終処分量 | 埋立最終処分量 | 7,752 t (13.5%) | 6,029 t (10.3%) | 3,944 t (6.8%) | 209.4 % |

※1 排出量は現状に対する増減割合、総資源化量は排出量と集団回収量の和に対する割合、その他は排出量に対する割合を記載

※2 (1事業所当たりの排出量) = { (事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量) } / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = { (生活系ごみの総排出量) - (生活系ごみの資源ごみ量) } / (人口)

※4 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・減量化量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載
(生活排水処理)

| 指 標 | 現 状 (令和 年度) | 目 標 (令和 年度) A | 実 績 (令和 年度) B | 実績 B /目標A |
|----------|--------------------|------------------|------------------|--------------|
| 総人口 | | | | — |
| 公共下水道 | 汚水衛生処理人口 | | | % |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | % | % | % |
| 集落排水施設等 | 汚水衛生処理人口 | | | % |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | % | % | % |
| 合併処理浄化槽等 | 汚水衛生処理人口 | | | % |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | % | % | % |
| 未処理人口 | 汚水衛生未処理人口 | | | % |

2 各施策の実施状況

| 施策種別 | 事業番号 | 施策の名称等 | 実施主体 | 施策の概要 | 事業実施期間 (事業計画期間) | 施策の実績 |
|-------------------|------|-----------|--------------------|-------------------------------|--------------------|---|
| 発生抑制、再使用の推進に関するもの | 11 | 処理の有料化 | 日進市、みよし市 東郷町 | 指定袋制度の継続、分別意識の向上を図る | H25～H31 | <p>【日進市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定袋制度の継続 ・平成 29 年 11 月から発火性危険物（スプレー缶・使い捨てライター）のステーション収集開始 月 1～2 回 ・平成 30 年 4 月から不燃ごみ袋を資源袋 金属類、陶磁器・ガラスに変更し、分別収集を開始したことにより指定袋を更新（陶磁器・ガラスはコンテナ収集） <p>【みよし市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定袋制度の継続 ・平成 30 年 4 月から不燃ごみ袋を金属類用、陶磁器・ガラス用に変更し、分別収集を開始したことにより指定袋を更新 ・平成 31 年 4 月からペットボトルを再利用資源に加えて収集開始 <p>【東郷町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定袋制度の継続 ・平成 29 年 10 月から不燃ごみ袋を資源袋 金属類用、資源袋陶磁器・ガラス用に変更し、分別収集を開始したことにより指定袋を更新 |
| | 12 | 普及啓発、環境教育 | 日進市、みよし市 東郷町、組合 | ごみの減量・分別の情報提供。施設の見学等の学習機会を設ける | H25～H31 | <p>【日進市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭ごみ&資源の出し方ガイドブック」を毎年作成 ・夏休みに子ども向けのリサイクルツアーやパソコン分解教室、廃食用油を使った石けん教室を実施 <p>【みよし市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルステーション見学受入れ ・ごみの出し方パンフレットを毎年作成 <p>【東郷町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、こども向け環境イベントとして「こどもエコばんぱく」を開催 |

| | | | | | |
|----|----|-----------------|-------------------------|---------|--|
| | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・各地区において廃棄物減量推進委員を任命し、分別の周知を実施 <p>【組合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設見学の受入れ継続 ・環境教育の推進を目的とした、リサイクル教室等を年 15 回程度開催 |
| 13 | 助成 | 日進市、みよし市 東郷町 | 生ごみ処理機器設置補助金の活用による普及を図る | H25～H31 | <p>【日進市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電動生ごみ処理機購入費補助金 ・生ごみ堆肥化容器購入費補助金 <p>補助実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25 処理機 37 件、堆肥化容器 41 件 ・H26 処理機 28 件、堆肥化容器 17 件 ・H27 処理機 30 件、堆肥化容器 36 件 ・H28 処理機 30 件、堆肥化容器 34 件 ・H29 処理機 26 件、堆肥化容器 19 件 ・H30 処理機 16 件、堆肥化容器 10 件 ・H31 処理機 19 件、堆肥化容器 16 件 <p>【みよし市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電動生ごみ処理機購入費補助金 ・生ごみ堆肥化容器購入費補助金 <p>補助実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25 処理機 14 件、堆肥化容器 17 件 ・H26 処理機 20 件、堆肥化容器 4 件 ・H27 処理機 16 件、堆肥化容器 2 件 ・H28 処理機 14 件、堆肥化容器 23 件 |

| | | | | | |
|----|----------------|-----------------|------------------------------------|---------|---|
| | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・H29 処理機 18 件、堆肥化容器 20 件 ・H30 処理機 20 件、堆肥化容器 13 件 ・H31 処理機 11 件、堆肥化容器 1 件 <p>【東郷町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電動生ごみ処理機購入費補助金 ・生ごみ処理容器購入費補助金 <p>補助実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25 処理機 13 件、処理容器 12 件 ・H26 処理機 12 件、処理容器 6 件 ・H27 処理機 6 件、処理容器 5 件 ・H28 処理機 10 件、処理容器 8 件 ・H29 処理機 12 件、処理容器 3 件 ・H30 処理機 5 件、処理容器 3 件 ・H31 処理機 4 件、処理容器 9 件 |
| 14 | マイバック運動・レジ袋対策 | 日進市、みよし市 東郷町 | マイバック等の持参促進 及びレジ袋有料化の促進 | H25～H31 | <p>【日進市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方ガイドブック等にて啓発 <p>【みよし市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「レジ袋削減に関する協定」を市内 8 店舗と締結しマイバッグ持参を促進 <p>【東郷町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年からレジ袋削減協力店舗にてレジ袋の有料化を実施 |
| 15 | 環境にやさしい商品の購入推進 | 日進市、みよし市 東郷町 | リターナブル容器の商品 や詰め替え商品の購入を 推進する | H25～H31 | <p>【日進市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方ガイドブック等にて啓発 <p>【みよし市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市広報紙での啓発 |

| | | | | | | |
|---------------|----|-----------------------------|--------------------|-------------------------------------|---------|---|
| | | | | | | 【東郷町】 ・広報及びごみの出し方パンフレットにて周知啓発 |
| | 16 | 再使用の推進 | 東郷町、組合 | 粗大ごみの中の再生可能な家具等の再生・供与による再使用の促進 | H25～H31 | 【東郷町】 ・ごみの出し方パンフレットにて周知啓発 【組合】 ・エコサイクルプラザで、再生した自転車、家具類など販売の実施 |
| | 17 | 事業者への減量化指導 | 日進市、みよし市 東郷町、組合 | 事業系ごみの排出抑制の指導強化 | H25～H31 | 【日進市】 ・事業者向けのパンフレットを配布 ・市内で発生した事業系生ごみの一部を堆肥化施設、バイオマス発電施設へ搬入 【みよし市】 ・事業所から排出されるごみの一部を資源化（堆肥化・飼料化）の実施 【東郷町】 ・ごみの出し方パンフレットにて周知啓発 ・町内で発生した事業系生ごみの一部を堆肥化施設、バイオマス発電施設へ搬入 ・町内で発生した事業系刈草の一部を堆肥化施設へ搬入 【組合】 ・市町と協力し、厨芥類については、バイオマス発電施設への資源化を推進 ・搬入ごみについては、収集車の展開検査等を行い減量化・資源化に向けた指導の実施 |
| 処理施設の整備に関するもの | 1 | マテリアルリサイクル推進施設（ストックヤード）整備事業 | 組合 | ストックヤードの整備用地にある廃焼却炉の解体撤去、ストックヤードの整備 | H25～H27 | 【組合】 ・平成 25 年度及び 26 年度に旧ごみ焼却施設、旧破碎施設解体工事実施 ・平成 27 年度にストックヤードの整備 |
| | 2 | 東郷美化センターごみ焼却施設基幹的設備改良事業 | 組合 | 既存焼却施設の基幹的改良事業 | H27～H31 | 【組合】 ・平成 27 年度から平成 31 年度にごみ焼却施設基幹的設備改良工事実施 |
| 施設整備に係る計画支援に | 31 | 2 の計画支援 | 組合 | 見積設計図書比較検討・発注仕様書作成等 | H26 | 【組合】 ・ごみ焼却施設基幹的設備改良工事発注仕様書を作成 |

| | | | | | | |
|---------------------|----|-----------------------|--------------------|---------------------|---------|--|
| 関するもの | | | | | | |
| 施設の長寿命化計画策定支援に関するもの | 32 | 長寿命化計画策定 | 組合 | 長寿命化計画策定 | H25 | 【組合】 ・ごみ焼却施設基幹的設備改良工事に伴う長寿命化計画を策定 |
| その他 | 51 | 廃家電及びPCのリサイクルに関する普及啓発 | 日進市、みよし市 東郷町、組合 | 家電リサイクル法に基づく処理の普及啓発 | H25～H31 | 【日進市】 ・ホームページや「家庭ごみ&資源の出し方ガイドブック」等により普及啓発 【みよし市】 ・平成25年7月からリサイクルステーションで小型家電の回収開始 ・ホームページ及びごみの出し方パンフレットで周知啓発 【東郷町】 ・ホームページ及びごみの出し方パンフレットで周知啓発 ・平成25年4月から資源回収ステーションでパソコン資源回収開始 【組合】 ・ホームページ等により普及啓発 ・平成28年4月からストックヤードで資源回収開始 |
| | 52 | 不法投棄対策 | 日進市、みよし市 東郷町、組合 | 啓発活動、分別区分の徹底 | H25～H31 | 【日進市】 ・シルバー人材センターの職員による見回り 【みよし市】 ・啓発看板の設置 ・環境美化指導員による啓発活動を実施 ・不法投棄防止パトロール実施 【東郷町】 ・ホームページ及びごみの出し方パンフレットで周知啓発 ・不法投棄パトロールを週3日実施 【組合】 ・ホームページ等によりごみの分別区分の |

| | | | | | | |
|--|----|----------------|--------------------|------------------------|---------|--|
| | | | | | | 徹底 |
| | 53 | 災害時の廃棄物処理体制の整備 | 日進市、みよし市 東郷町、組合 | 災害廃棄物処理計画を踏 まえた体制整備 | H25～H31 | 【日進市】 ・平成30年3月に日進市災害廃棄物処理基本計画を作成 【みよし市】 ・「みよし市災害廃棄物処理計画」の策定のための基礎調査を実施 【東郷町】 ・令和2年に災害廃棄物処理計画を策定 【組合】 ・組合市町の「災害廃棄物処理計画」を基に、組合の災害ごみ処理計画を見直し |

3 事業実施による二酸化炭素削減効果について

(1) 削減量（実績）

（事業実施による本報告の対象とする期間における二酸化炭素の削減量について、算定方法及び算定根拠と併せて記入する。また、算定根拠として使用した具体的な資料を添付する。）

尾三衛生組合東郷美化センター基幹的設備改良工事で実施した二酸化炭素排出量の検証結果は以下のとおり
なお、二酸化炭素排出量については、「廃棄物処理施設の基幹的設備改良マニュアル」に従い算出した。

| | | |
|---------------|---------|---------|
| 改良工事前（平成27年度） | 4,130.6 | t-CO2/年 |
| 改良工事後（平成31年度） | 3,494.9 | t-CO2/年 |
| 削減量 | 635.7 | t-CO2/年 |
| 削減率 | 15.4 | % |

(2) 削減量に達しなかった場合の原因

（（1）の削減量（実績）が、延命化計画又は同様の内容を含む他の計画において算定した二酸化炭素削減量に達しなかった場合に、その原因を分析し、その結果を詳細かつ具体的に記入する。（上記計画において算定した二酸化炭素削減量に達した場合は、記入を要しない。））

4 目標の達成状況に関する評価

○排出量

- ・事業系総排出量（※地域計画策定当時は、目標年度において事業所数が増加する想定であったため、総排出量が増加する目標となった）
事業系ごみについては、総排出量の目標 13,186 t に対して実績 13,788 t で目標を達成することができなかった。目標が達成できなかった要因としては、目標年度の想定事業所数より実績事業所数が増加したこと、また、大型商業施設が開業したことによるものと考えられる。
- ・事業系 1 事業所当たりの排出量
1 事業所当たりの排出量は目標の 14.3 t に対して実績 12.1 t で目標を達成することができた。これは、事業所数が増加したが、新型コロナウイルス感染症による店舗の休業及び営業時間の短縮により 1 事業所当たりのごみの排出量が減少したのと考えられる。
- ・生活系総排出量
生活系ごみについては、総排出量の目標 45,308 t に対して実績 44,049 t で目標を達成することができた。これは、直接資源化量が減少していることから、民間のリサイクル回収拠点に資源ごみが排出されたことが要因と考えられる。
- ・生活系 1 人当たりの排出量
1 人当たりの排出量は目標 167 kg に対して実績 184 kg で目標を達成することができなかった。目標が達成できなかった要因としては、可燃ごみが増加していることから新型コロナウイルス感染症による外出自粛により、家庭生活から排出される厨芥類が増加したのと考えられる。
- ・事業系生活系総排出量
事業系生活系総排出量については、目標の 58,494 t に対して実績 57,837 t で目標を達成することができた。これは、事業系ごみについては想定より事業所数が増加しているが、1 事業所当たりの排出量が減少していること、又、生活系ごみは可燃ごみが増加したことにより 1 人当たりの排出量は増加しているが、直接資源化量が減少していることから、民間のリサイクル回収拠点に排出されたことが要因で減少したのと考えられる。

○再生利用量

- ・直接資源化量
直接資源化量については、目標の 8,138 t に対して実績 6,757 t で目標を達成することができなかった。目標が達成できなかった要因としては、資源回収ステーションの回収のうち、新聞、雑誌等の紙類の回収量が顕著に減少していることが考えられる。紙類の減少については、電子書籍化や民間のリサイクル回収拠点へ排出されていることが考えられる。
- ・総資源化量
総資源化量については、目標の 18,249 t に対して実績 13,750 t で目標を達成することができなかった。目標が達成できなかった要因としては、直接資源化量の減少の他に、集団回収量の減少が考えられる。集団回収量の減少については、実施団体の減少や新型コロナウイルス感染症による実施回数減少によるものと考えられる。

○減量化量

- ・中間処理による減量化量（※地域計画策定当時は、目標年度において焼却量が減少する想定であったため、減量化量が減少する目標となった）
中間処理による減量化量については、目標の 40,107 t に対して実績 43,270 t で目標を達成することができた。これは、指定袋の変更により分別収集を開始したことから、処理後再生利用量が増加したこと、又、基幹的設備改良工事による設備更新により、焼却残渣率が減少したことに伴い焼却残渣発生量が減少したことが考えられる。

○最終処分量

・埋立最終処分量

埋立最終処分量については、目標の 6,029 t に対して実績 3,944 t で目標を達成することができた。これは、分別収集を開始したことにより埋立残渣発生量が減少したこと及び焼却残渣の処分について、埋立処分場への搬出量を減量し、セメント原料等の再生事業者への搬出量を増量したことに伴い資源化量が増加したことが考えられる。

なお、目標が達成できなかった項目については、目標が達成できなかった要因及び目標達成に向けた方策について、改善計画書を作成する。

(都道府県知事の所見)

【ごみ処理】

○ 目標の達成状況について

事業系 1 事業所当たりの排出量は目標を達成している。これは、事業者向けのごみ排出抑制の指導等が実施されたことや、新型コロナウイルス感染症により事業活動が縮減されたこと等によるものと考えられる。

生活系総排出量及び事業系生活系総排出量合計は目標を達成している。これは、ごみ抑制等の推進に関する啓発活動が実施されたこと等によるものと考えられる。

中間処理による減量化量は目標を達成している。これは、ごみ焼却施設の基幹的設備改良工事で焼却残渣発生量が減少したこと等によるものと考えられる。

埋立最終処分量は目標を達成している。これは、中間処理による減量化量が増加したこと等によるものと考えられる。

目標を達成した上記の指標については、循環型社会が更に進展するよう取り組んでいただきたい。なお、目標未達成の指標（事業系総排出量、生活系 1 人当たりの排出量及び再生利用量）に関する所見は、循環型社会形成推進地域計画改善計画書に記載する。

○ 各施策の実施状況について

発生抑制、再使用の推進に関する施策は、積極的に普及啓発活動が実施される等、概ね計画のとおり実施されたものとする。

処理施設の整備に関する施策（各種計画支援に関する施策）は、計画のとおり処理施設の整備等が実施されているものとする。

その他の施策についても、計画のとおり施策が実施されているものとする。

○ 事業実施による二酸化炭素削減効果について

基幹的設備改良工事が適切に実施されたことにより、二酸化炭素排出量が削減されたものとする。